

Allplan 2024

BIM・CIM/IFC対応3次元土木建築CAD

Basic ¥642,400 (税抜¥584,000)	Engineering Building ¥1,372,800 (税抜¥1,248,000)
Architecture ¥1,103,300 (税抜¥1,003,000)	AEC ¥1,840,300 (税抜¥1,673,000)

Windows 10/11 対応

3D配筋対応

IFC 3D PDF

体験セミナー

開発: Allplan 社 <http://www.allplan.com>

ドイツのCADメーカー Allplan 社により開発されたBIM/CIM統合ソリューション。基本図面、レンダリングイメージやプレゼン映像、詳細施工図、数量算出、積算など、建物のライフサイクルに必要なあらゆる情報を連続的に設計・表現できます。汎用 CAD の基本的な描画機能とともに、建築・建設 CAD としての様々な部材を保有しており、3D 表示、レンダリング、数量計算、プレゼン用のデータ加工まで行うことができます。

【インタフェース】

- 高性能なスナップツールを備えた作図カーソルにより、作業効率のアップを実現
- 2D図面で行った作図・編集は3D画面の立体モデルに即反映
- オブジェクトナビゲーター: 図面、レイヤー、種類ごとにリスト化し表示
- 平面パレット機能: フロアの選択・名前、標高の調整。壁、スラブ、柱などのコンポーネントをポリゴン化されたサーフェスまたは自由曲面にリンク可能
- プロパティパレット: 壁、スラブ、基礎、屋根、部屋などのコンポーネントを構築するためのフォーマット、ビジュアライゼーション、および属性の設定を管理

【プレゼンテーション】

- レンダリングによる高画質なイメージ作成、気象・季節表現、日影計算、光源、照明シミュレーションなどが可能
- CINEMA 4Dモデリングツールをダイレクトに活用可能

【多彩な高性能オブジェクトと部材作成ツール】

- 柱、梁、床、壁などの基本的な部材作成ツールに加え、高性能オブジェクト(窓、ドア、階段、ファサードなどの部材)を用いて建物モデルを作成
- 平面図、立面図、アイソメトリック図で構造部材やオブジェクトの入力・編集を行うと、3D画面の立体モデルに変更がリアルタイムで反映
- 部材の結合、切断、交差、部材表面の貫通など直感的に確認しながら操作可能
- SmartParts (パラメトリック): 強力な3Dモデリング機能を使用、インテリジェントに動作するロジックパラメータを持っているオブジェクトを作成可能

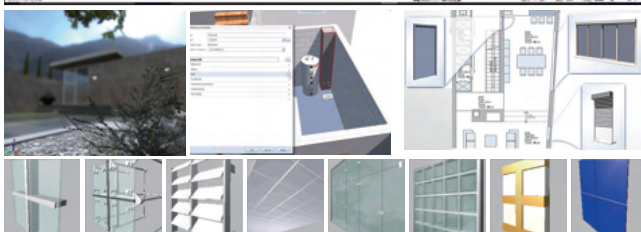
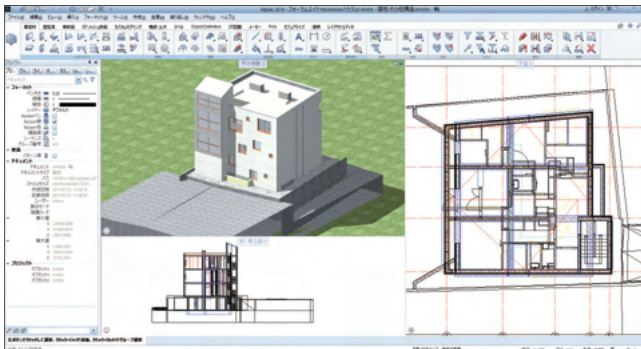
【2D作図/3Dモデル】

- 2D図面で外部ファイル参照可能なXRef機能、繰り返し利用する部材を定義して3Dモデルの作図を行うスマートシンボル機能など、多彩な機能を用意
- 作成した3Dモデルから任意の断面図を切り出し可能
- CineRenderへのアンビエントオクルージョン: 部屋の隅など暗くなる効果に対応
- グリッド機能: 2Dと3Dの両方で使用可、ハンドルによりグリッドを調整。パレットに基づいたUIにより、すべてのプロパティを直感的に定義および調整可能

【配筋図】

- オブジェクトベースの一般的な配筋や自動シェルエッジ認識
- あらかじめ用意された鉄筋グループの定義、高度なテキストチャなどの機能
- ウィザード機能を利用、作成した配筋図から加工図作成も可能

▼ Allplan Architecture



【数量計算】

- 鉄筋、型枠コンクリートなどの構造数量、壁材や床材などの仕上げ数量まで、体積・面積・重量などさまざまな構造部材の数量計算が可能
- 計画→詳細設計→数量計算→概算工事費算出の一連の作業が、AllplanのBIM対応ソリューションによって実現

【データ連携】

- IFC形式など、さまざまな3D・2Dのファイル形式でのデータ交換が可能
- フォーラムエイト製品との連携により、建物エネルギー、火災・避難、氾濫、交通ネットワーク、構造などの各種解析と、VRによる可視化のシミュレーションが可能
- LandXMLのインポート: 地形点、平面線形のインポートが可能
- IFC4出力、項目の設定編集に対応

建設 IT ガイド 2011 ((財) 経済調査会刊) の「BIM で変える! BIM ツール徹底検証」で Allplan(Architecture) が取り上げられました。
建設 IT ガイド HP : <http://it.kensetsu-plaza.com/cad/>

Allplan2019 IFC検定合格

検定MVD名称 土木モデルビュー定義2018

検定区分 入力2:CAD系
認定番号 CVL01-i-1805
認定日 2019年4月18日



検定区分 出力
認定番号 CVL01-e-1810
認定日 2019年5月28日



Allplan 2024 改訂内容

2024年3月27日リリース

1. GISコネクタツールに対応
2. コンテンツコネクター機能に対応
3. 干渉検出機能拡張
4. 自動配筋機能の拡張
5. 掘削の直感的なモデリングに対応
6. 道路交差点のT型およびX型交差点のパラメトリックモデリングが可能
7. Twinmotionダイレクトリンクに対応
8. SDS2エンジンの統合
9. 型枠計画アドオンツールに対応

▼ Allplan Engineering

